

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38 39	防災については職員の8割程度が、8割程度は理解してくれていると考えていた。しかし、少しぐらいだったら、そこまで、、、のような気持ちを持つ職員もいる。想いを正直に話してくれる分、指導・再教育を徹底していきたい。少しぐらいは感染症や災害、すべての事象において事故の元との理解が必要。	災害マニュアル見直し・改定については、R2年度より2年間を目標にしていたが、進捗が悪い状況。R4年度初頭には完成させたい。	R3年度より防災委員会を設け、担当職員が中心となり、降りてきた情報・指示には全員参加で取り組む。それにより職員全員の防災意識を統一していく。	24ヶ月
2	13	感染症に対しても防災と同じく、誰かに付いていれば大丈夫と当事者意識にかける職員が見受けられる。ご利用者様の安心・安全を担うのは私達、職員であるという意識を確実に身に付けてもらう。	職員全員が定期的な知識の補充、共通の危機感を持ち続けられるようにしたい。	細かな情報収集に努め、職員お互いに不足の知識の補充をしあえる、学びあえる環境作りに務める。リモートによる研修案内や資料の回覧、社内勉強会を行っていく。	24ヶ月
3	18	多忙時は、職員本位のサービスになりがち。	職員全員がご利用者様、職員共に支えあう、心から笑顔になれる介助・サポートができるようにしたい。行動がすぐに伴わなくても、まずは全員が頭で理解できるようにしたい。	ご利用者様と共に支えあう〈安心・あったか・続く暮らし〉を理解している職員には、自信をもって周囲の啓もうに努めてもらう。職員同士で注意しあえる関係を構築していき、職員本位になりがちな時はお互いに注意しあえる雰囲気を作り上げていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。